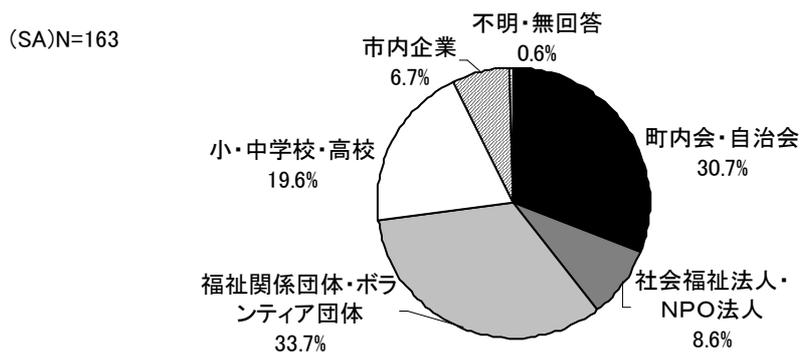


## **IV 福祉関係者・団体向けアンケート調査結果**

# あなたの団体について

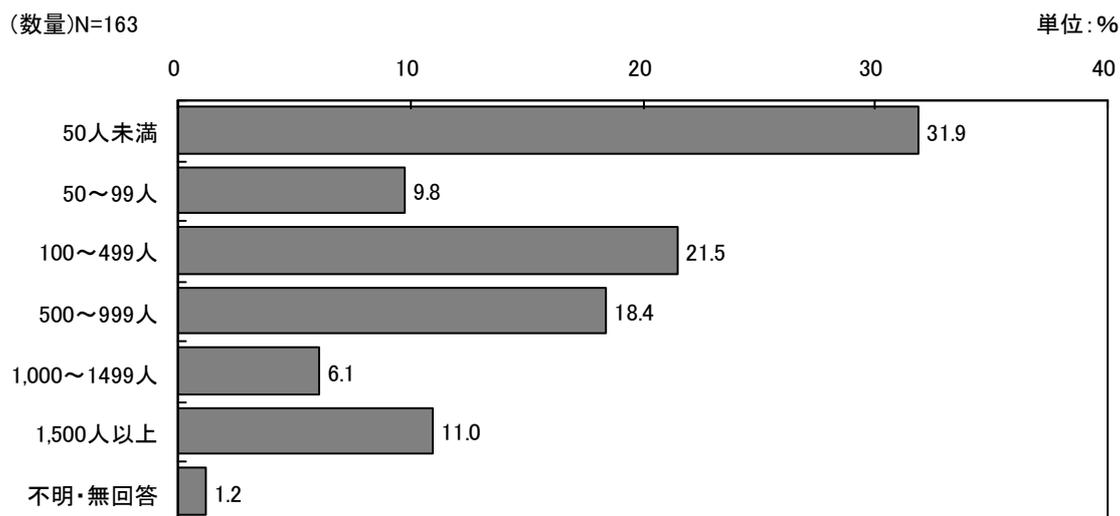
問1 所属について、お答えください。（1つに○）

「福祉関係団体・ボランティア団体」が33.7%で最も高く、次いで「町内会・自治会」が30.7%となっています。



問2 現在のあなたの団体における会員数（従業員・職員と生徒児童なども含む）は、おおよそ何人ですか。

「50人未満」が31.9%で最も高く、次いで「100～499人」が21.5%となっています。

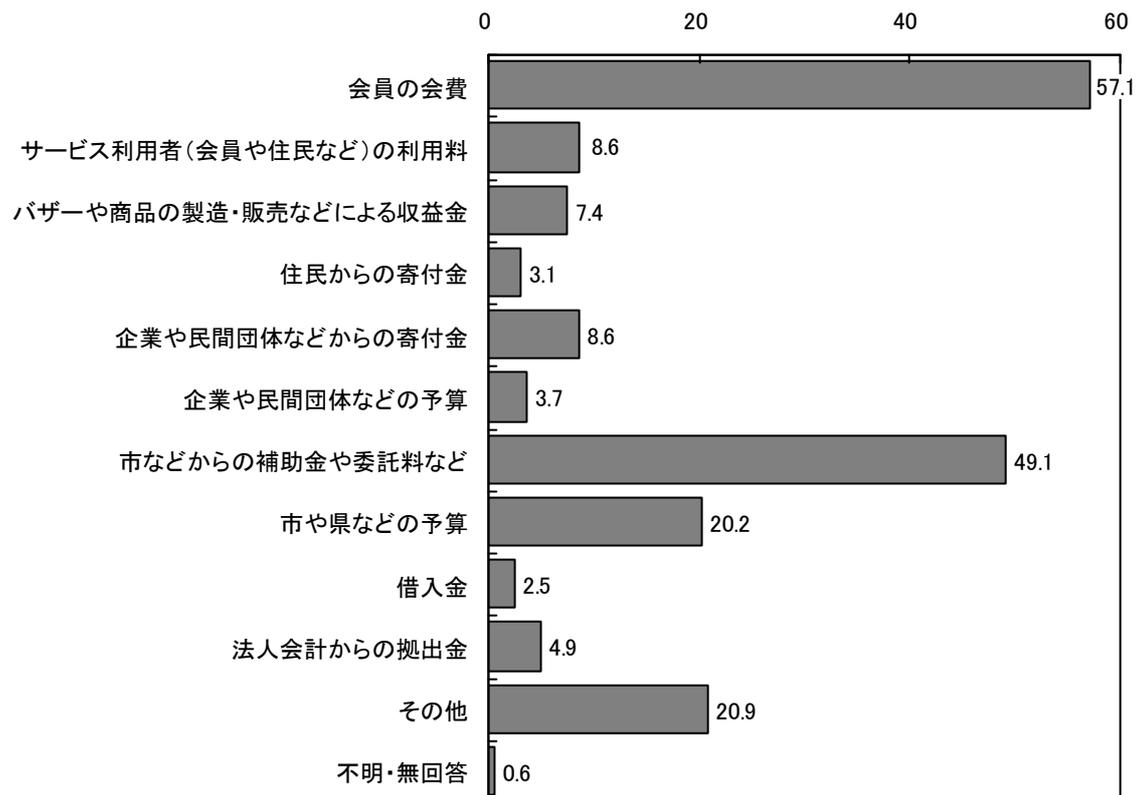


問3 あなたの団体の主な活動資金（地域活動に限る）についてお答えください。（あてはまるものすべてに○）

「会員の会費」が 57.1%で最も高く、次いで「市などからの補助金や委託料など」が 49.1%となっています。

(MA)N=163

単位：%



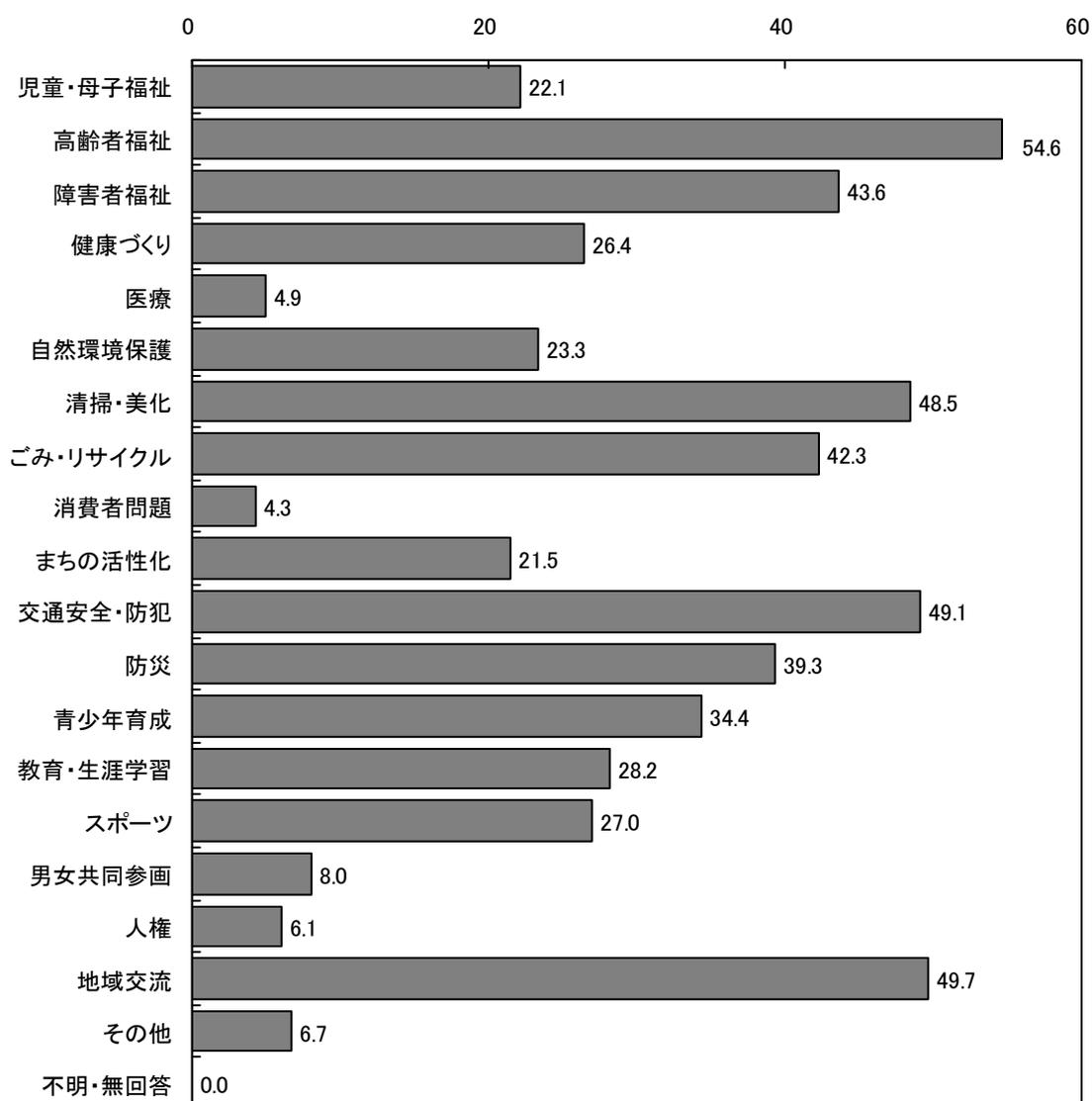
## 地域活動について

問4 あなたの団体が取り組んでいる地域における活動の分野をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

「高齢者福祉」が 54.6%で最も高く、次いで「地域交流」が 49.7%、「交通安全・防犯」が 49.1%、「清掃・美化」が 48.5%となっています。

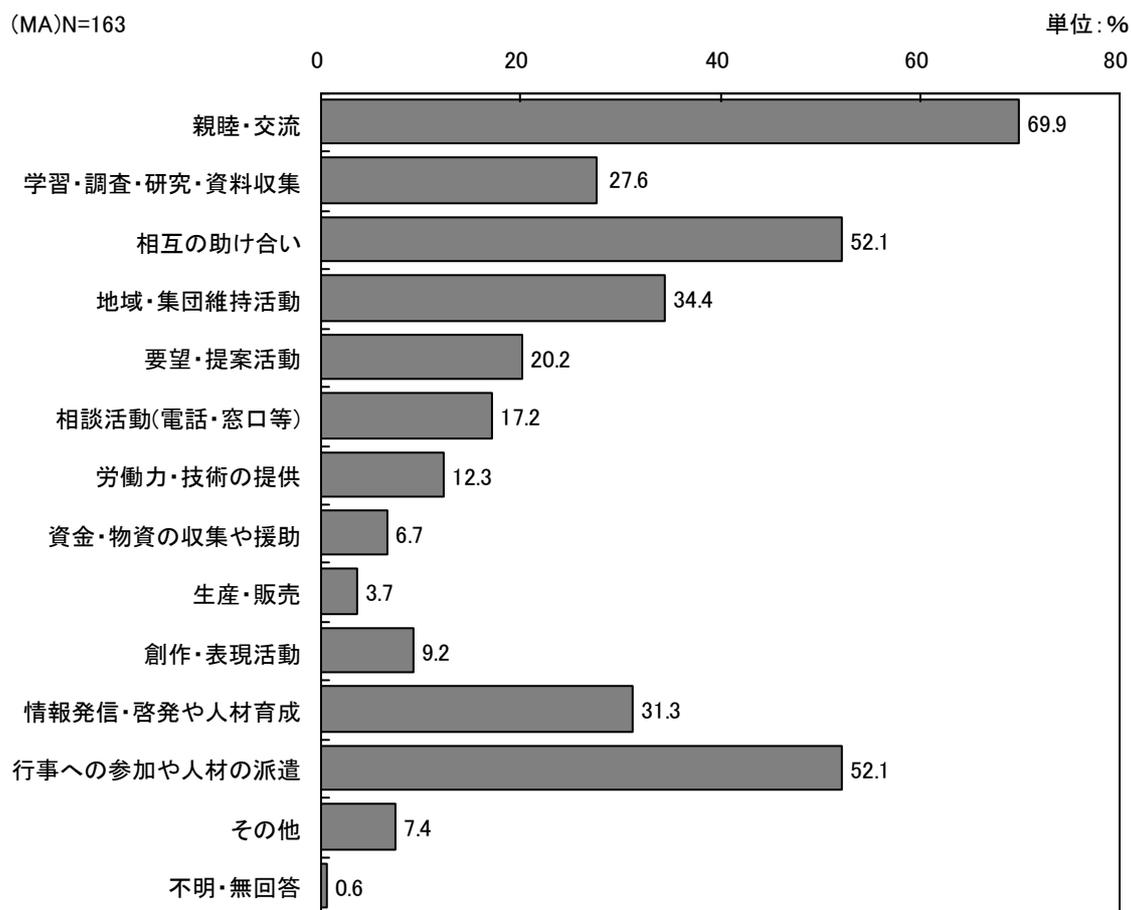
(MA)N=163

単位：%



問5 あなたの団体が取り組んでいる地域における活動の種類をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「親睦・交流」が69.9%で最も高く、次いで「相互の助け合い」「行事への参加や人材の派遣」が52.1%となっています。

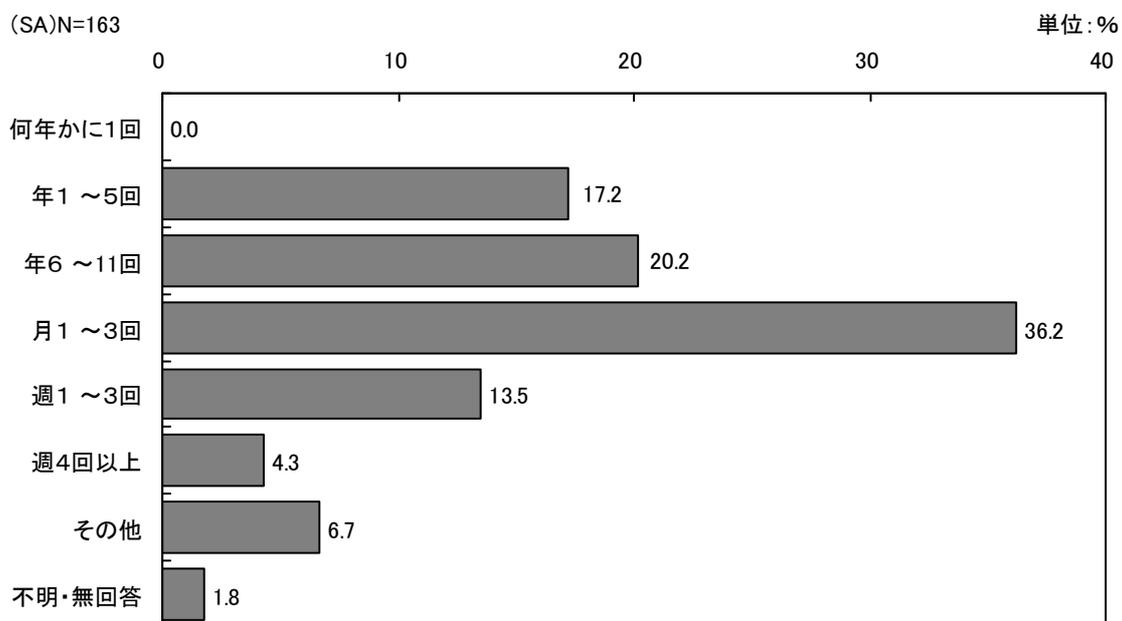


問6 あなたの団体が、地域における活動を開始した時期はいつですか。

時期	件数	時期	件数
昭和 30 年以前	8	平成元年～4 年	7
昭和 30～39 年	9	平成 5～9 年	15
昭和 40～49 年	9	平成 10～14 年	20
昭和 50～63 年	28	平成 15 年以降	14
		わからない(不明・無回答含む)	53

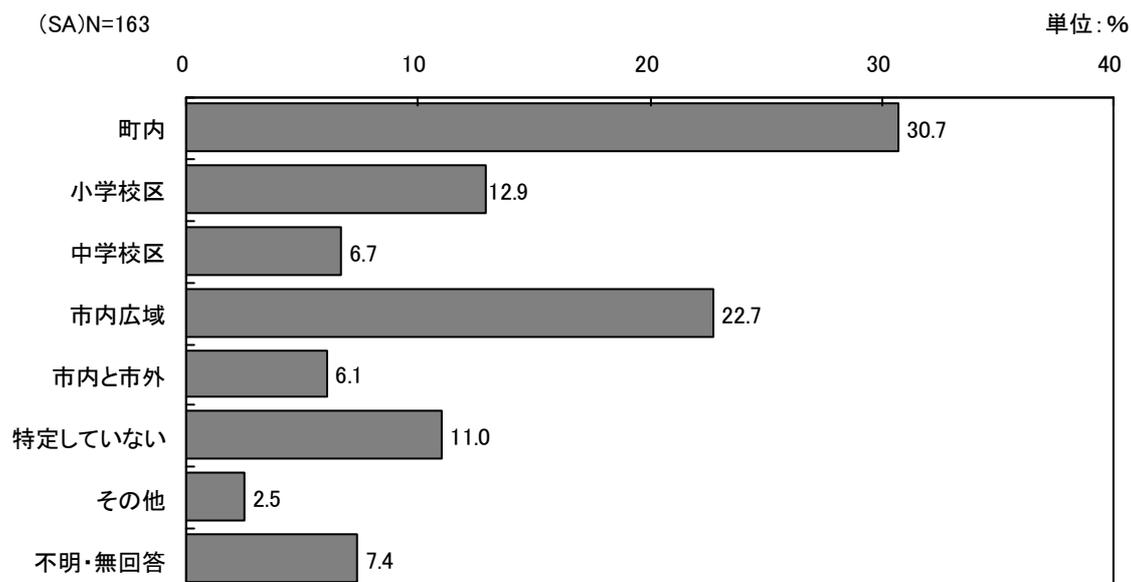
問7 あなたの団体が行っている地域における活動の頻度をお答えください。(1つに○)

「月1～3回」が36.2%で最も高く、次いで「年6～11回」が20.2%となっています。



問8 あなたの団体が地域活動の対象としている主な地域をお答えください。(1つに○)

「町内」が30.7%で最も高く、次いで「市内広域」が22.7%となっています。

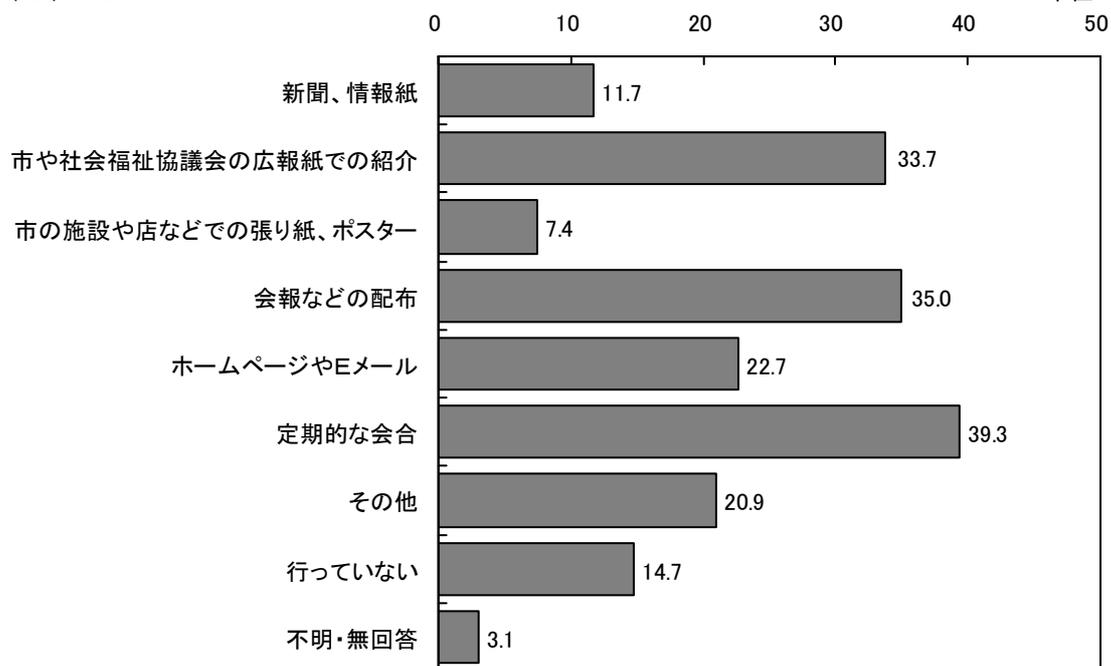


問9 あなたの団体の地域活動に関するPRや会員・ボランティアの募集などの方法についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「定期的な会合」が39.3%で最も高く、次いで「会報などの配布」が35.0%、「市や社会福祉協議会の広報紙での紹介」が33.7%となっています。

(MA)N=163

単位：%

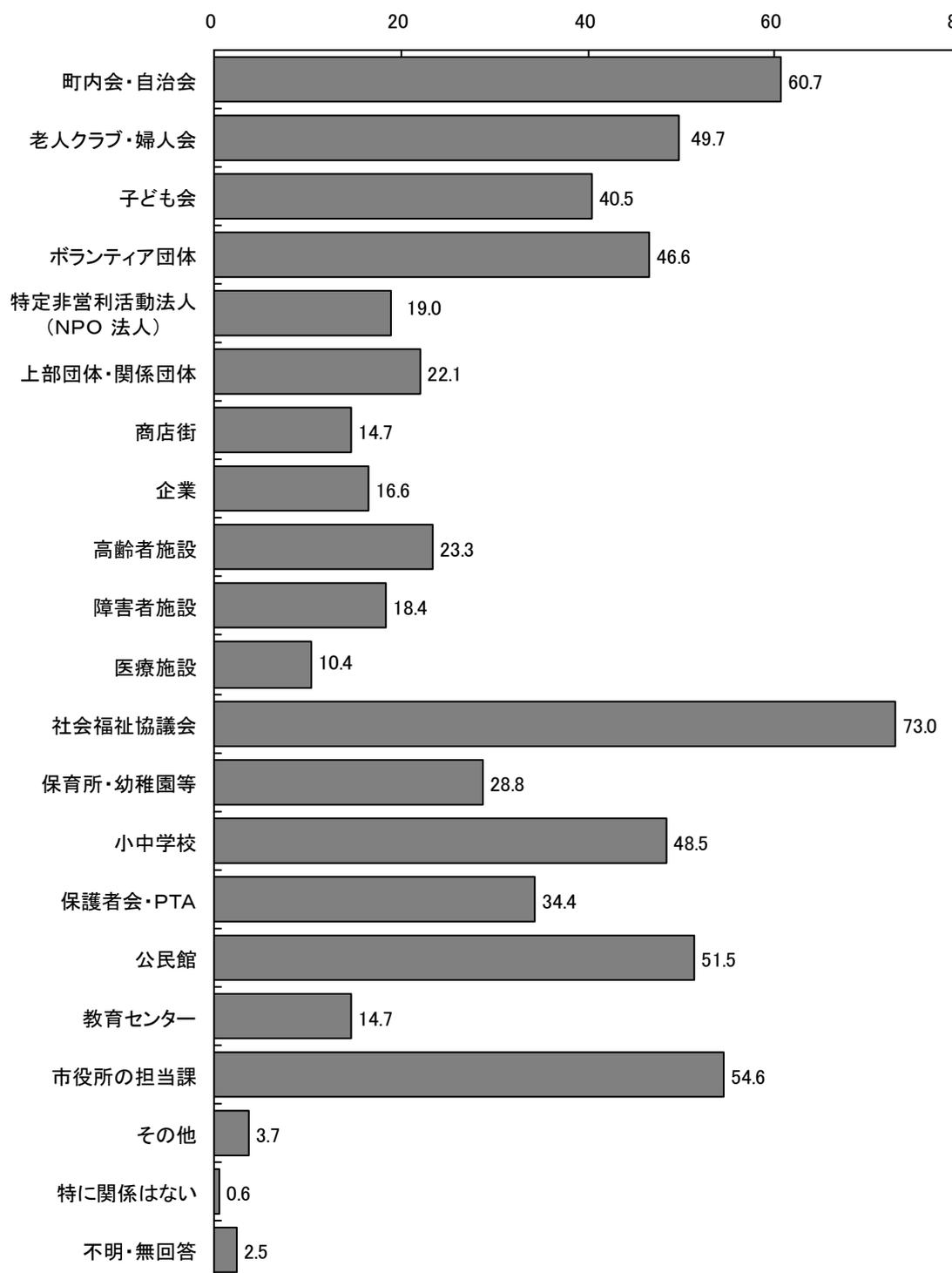


問 10 あなたの団体と交流のある団体などをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「社会福祉協議会」が73.0%で最も高く、次いで「町内会・自治会」が60.7%となっています。

(MA)N=163

単位：%



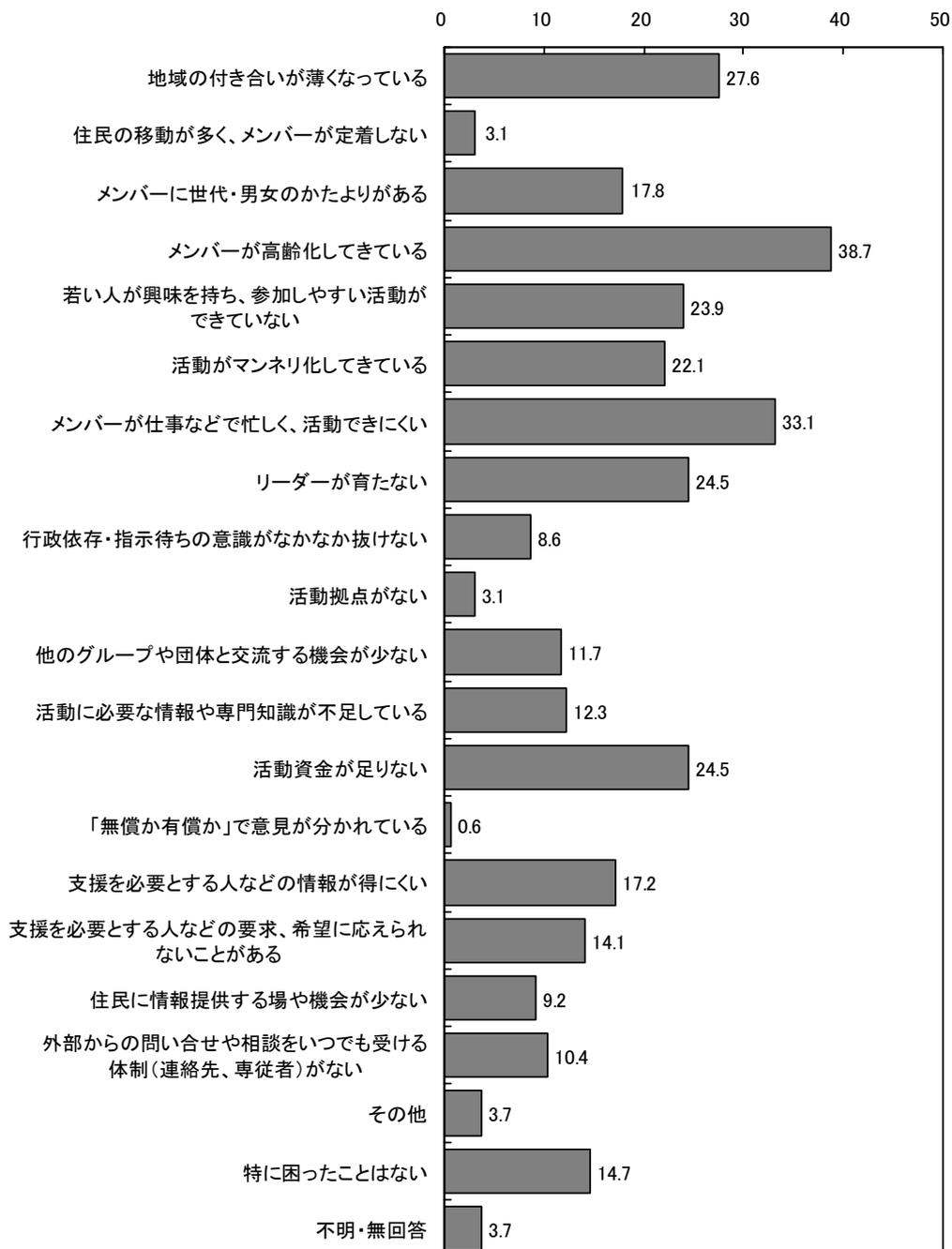
## 地域活動における問題点と今後の展望について

問 11 あなたの団体などが地域活動を行う上で問題となることをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

「メンバーが高齢化してきている」が 38.7%で最も高く、次いで「メンバーが仕事などで忙しく、活動できにくい」が 33.1%となっています。

(MA)N=163

単位：%



問 12 問 11 の問題を解決するために、どのような取り組みが必要だと思いますか。具体的に記入してください。

ボラ連協で行っているボランティア養成講座を続けて行う。社協や地域包括支援センターがボランティア活動の内容をよく知って困っている人にこんなボランティア団体がありますよと紹介して欲しい。私達は毎週土曜日ふれあいホームを聞いている。生活の中でリハビリを！！ということで参加者はおしゃべり・ゲーム・脳トレ・ヨガ・歌・指体操など、楽しみながら介護予防を行なっている。問題は会場費年間(5,000×48)24万円を会費や個人の寄付で補っていることである。利用者の参加費1日1,000円は昼食代・おやつ代で実費である。公的な資金援助をしていただき、この活動が公的に認められているとやる気をもっと出るのであるが…。

会員による理解の片寄りがみられるので活動のための学習会を開き目的を共有する必要性を考えている。地域・社会に対しては、先を長く見てコツコツと会員が楽しく活動していく事でPRし、障害にどのようなバリア(ハード・ソフト共に)があるのかを知ってもらい、将来的にこれからも続くであろう障害者が外に出やすい、自立した考え、動きができるような環境を作り続けたいと思う。

1) 防災ボランティアの講座の開催により、若い人への入会を図っていく。 2) 災害時要援護者を含めた、防災訓練などをねばり強く、少しでも理想に近づける様、一步一步前進していける様、企画運営できるようになっていきたい。

若い人に委員になって欲しいが、働いている人が多く、世代交代が進まない。

①住民が寄り合う場所の提供が必要である。御幸町内会の例では独自の公民館が無い。  
②上記の場所をコミュニティーの中心にすれば、役員をみつける場所ともなる。(仲間同士で選出していける)

○新たなメンバーが参加しやすい企画を実行し、仲間を増やす。 ○ケアマネジャーなどが各家庭を訪問した時に、その人に合った(合いそうな)団体を紹介してもらう。 ○ボランティアと良い関係であるように努める。同時にヘルパーの利用範囲が広がると(負担も極力おさえて)障害者もその介護者も動きやすくなると思う。

働く女性が増えて昼の間に家に居る人が少なく、若い人が入会できない。そのために男性の会員を入会出来るようにした。高齢化と共に発足時のような活動が出来にくくなり、活動の内容を考えていく必要がある。

NPO活動法人のネットワークがなく、大府ネットワークや知多ネットワークに参加して、NPOのあり方や事業についての方向性等を訪ね歩いている。安城市のネットワーク拠点がどこにあり、そうした会議があるかもわからない。一般質問でもあった「NPOネットワーク基金」等をして今後の住民ニーズに応えられる(反応できる)NPOを育てる方向が一番重要であると思う。今年は県の「キリコロ基金」に参加しようと思っている。

<p>市民団体の活動のみならず、法人企業・学校等の参画により地域ぐるみとしての活動が必要ではないでしょうか。(市民団体そのものが、高齢化となり、新しい物の考えがなくなりつつあると思われる。他、行動力)</p>
<p>以前、広報折り込みの社会福祉協議会の機関紙にてアピール・メンバー募集を行ったが、問い合わせは2件だった。特に若い人は広報に目を通さない人が多いので、別の方法でのアピールが必要だと思う。グループとしては七夕まつりや福祉まつりなどのイベントに参加してPRしているが、まだ力不足である。出来れば、広報とは別にボランティア単独の冊子を年1回でも発行できれば効果があるのではないかと思う。困ったときの相談一覧のような形で実用的なものにすれば捨てることなく残しておいてもらえると思う。</p>
<p>○地域のリーダーを育てるための熱心な指導機関の不足。行政上の指導者不足。 ○定年後(特に男性)の方々への参加意欲を社会活動に向けるための努力が欠如している。(行政、地域社会の取り組み)</p>
<p>個人での活動が多いため、それぞれが連絡し合って行う。例えば、ある行事を撮影する時に何人かで行う必要がないからである。時と場合によるが。</p>
<p>いろんなボランティアの方達が毎日会合で集まって話しつつも、人は人、自分は自分となかなか話し合いができない。残念ですね。</p>
<p>平成7年11月「お父さん出番」を合言葉に開催された「シニアボランティア講座」の受講修了者により結成された現在に至る(約12年)「ボランティアを楽しく」を合言葉に活動。各種行事への参加、応援。男性だけのボランティア講座の開催(グループ結成)男性の地域への出番づくり。仕掛け。</p>
<p>メンバー(会員)が高齢化し減少するばかりで困っている。障害者に新しくなられた方は民生委員には通知があるようですが当協会も情報が知りたい。プライバシーの問題等の事とありますが個人の情報保護は守らなければならないが障害者本人も当協会の活動など知って賛同してもらえる方は入会してもらいたい。知恵を貸して下さい。このままでは当協会はなくなり、福祉はどうなるのか心配。</p>
<p>こちらからの情報発信はもちろんの事だが、街全体が障害者に対する受容の心を育てることが必要である。教育機関とも連携が取れるよう、市としても働きかけをして欲しい。</p>
<p>町内会を主体とした地域活動は住民意識の希薄化と趣味の多様化などにより若い人が町内会を通じた地域活動に興味をもたない。又、少子高齢化の進む一方で世帯間の連携などについての在り方をどのようにしていくのか。加えて、リーダーが育たないなどの問題点をどのようにして克服していくのか、などについて町内会を主体とした地域活動の課題と考えているが、現状では組が空回りしている。</p>

<p>私達は現在、視覚部の皆様へ点字による情報提供をしている。今後は視覚部に所属していらっしやらない視覚障害の方々のご要望にも応えていきたいと考えているが、私共にはそうした方々の状況がわからない。市内在住の視覚障害の方々に当会の活動をお知らせいただき、点字による情報提供を希望される方がいらっしやったら、是非ご紹介くださるようお願いしたい。今後の活動に生かしていきたいと思う。</p>
<p>活動方針の明確化→「社員の意識改革」・「社員の活動支援」など。</p>
<p>資金の不足については、常についてまわるのは仕方のないもの。様々な他団体とのジョイントは市のボランティア活動の幅を広げると考える。しかしお祭りのなものでなく、しっかりした方向性、目的を持った事業が望まれる。住民への情報提供について積極的に取得しようとする人々にとっては、それなりにある。多忙な人や情報弱者については、一考の必要がある。</p>
<p>民間の学童保育である。市や社会福祉協議会からの補助を頂きながら、活動をしているが、少子化の影響で児童数が減少傾向にあり、十分な資金がない。指導員も常勤に支払う資金がなくパートでまわしているので中心となる指導員が不安定な状態が続いている。補助の増額、又は、中心となる指導員の派遣をお願いしたい。</p>
<p>会社内での活動PRを盛んにする。</p>
<p>住民の意識を高めるためのPR活動をもっと行うことが必要だと思う。</p>
<p>①人材の確保…教育・交際費等、退職者の意識の高揚。 ②リーダーの養成 ③研修、自己啓発の育成、資質の向上。 ④民生児童委員 ⑤無償は限界に来ている。NPOのような有償方式を少数精鋭主義でメリットを出す必要有り。 ⑥ボランティア対象者の平準化。 ⑦町内会長のレベルアップと教育を徹底して欲しい。(安城市町内会 79ヶ所の統合等) ⑧民生児童委員の一斉改選(3年に1回)については今後一般公募方式を採用して欲しい。→やる気のある人で運営する。</p>
<p>民生・児童委員活動の体制について地域に必要な事項は支障のない範囲で広く地区に公表する。公表することで、地域の情報により福祉活動の充実となると思われる。民生・児童委員は広く一般的な役職として活動する必要がある。</p>
<p>お年寄りが集まれる機会を多く計画できると良いと思う。支援を必要とする人の情報も入りやすいと思う。</p>
<p>①動けるメンバーが少ない。 ②町内からの要請が多く、対応に苦慮している。 ③役員以外で目的にあったボランティアを育てる。</p>
<p>メンバーの高齢化・リーダーが育たないことで共通していえることとして、人材発掘。発足当初40～50歳代で入会した殆んどの人がそのまま継続しているため、活動年数とともに高齢化してきているが、今の40～50歳代の人達は仕事やその他に関心事が移り、ボランティア活動と結びつきにくい。が、来年の桜井複合福祉施設開館をきっかけに、館を利用する様々な年代の人達と接触し人材を発掘していく。</p>

<p>老人福祉施設との交流の場合、学校の環境が車イスなどに充分対応できず、不自由な思いをさせてしまうことがある。そのため、予定していた行事に参加していただけなかったこともあったので、学校のトイレや通路なども、バリアフリーを徹底できればと思う。</p>
<p>現在、問題とすべき事が特にない。</p>
<p>学校において、生徒は学習・部活動が優先となる。本校の生徒が地域活動に参加するためには学習活動の一環としての位置付け、学校行事としての位置付け又は、部活動の一環としての位置付けが必要となる。こうした位置付けのない地域活動に個人的な参加を呼びかけたとしても、生徒は本校の教育的諸活動を優先するので、結果的に地域への参加意欲は低調となってしまう。</p>
<p>これはという活動はしていないが、月1回誕生会、大岡公民館周辺の清掃、毎週土曜日にグランドゴルフの会、又、町内会のふれあい親睦会への参加などの活動をしている。会員の要望・意見を入れながら活動を行っている。</p>
<p>町内の広場・公園を活用し、多くの住民が気楽に参加出来る場づくりを計画したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ交流</li> <li>・イベント大会（芋煮会・タコあげ大会等）</li> </ul> <p>特に子ども、若年層など幅広い層が参加出来るようにしたい。（現在は老人中心が多いため）</p>
<p>健康体操・福祉勉強会・各種活動に対して参加者が少ない。要支援者の参加者に賛同が少ない。支援者応募が少ない（ボランティア）。</p>
<p>生徒の中には積極的にボランティア活動に参加したがっている者もいる。ボランティア活動に多くの者を参加させるには、早めの広報とホームルーム単位の広報紙（ポスター）を送って欲しい。（A4版で十分の大きさである）本校であれば3×8=24枚です。</p>
<p>メンバーの集いなどを行い、若い人を会員にさそう。土・日など参加出来る人、出来る日に参加する。会員の協力を得て育成を行う。グループとの会合を多く設定する活動を行う。</p>
<p>地域福祉の意識が薄いため、もっと啓発活動を強化する必要がある。活動資金も市の補助金頼みの傾向にある。</p>
<p>専門知識を持った専従者の確保が必須条件と思う（人材育成）。専門知識（福祉活動）のない者同士の集まりでは話がまとまらない地域の福祉活動にとって何が一番大切かを十分考えた上で、地域で出来る事を考える必要がある。地域の福祉委員会等での話し合いの場に出る話として共通的なのは的がない抽象的・理想的意見の話で終わる。専門的知識、よき指導者がいないために常に放談に終わる。</p>
<p>まだ始まったばかりなので1つずつ行い、反省をし、改善をしていく。</p>

<p>1. 活動拠点が是非必要。運営資金は主として会費のみのため活動拠点が作れない。是非、市内のボランティア団体を含めて地域活動の補助を。2. 障害者自立支援法もできて、今後は「後見制度」と地域生活の推進の要となる「グループホーム」を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後見制度推進の仕組みをつくって欲しい。</li> <li>・グループホームの推進・特に「住」の確保。</li> </ul>
<p>①兼職での活動は限りがあるので、それぞれの長でやるようにしたい。②福祉＝老人という固定概念を崩していきたい。③他人に頼らず、自己及び家族でもっと解決していく必要がある。④町内会等各地域に頼らず市側でもっとやって欲しい。</p>
<p>活動拠点開設により、日常活動の継続化や一元化が図られ、安定した情報発信と交流事業、相談事業を展開する必要がある。</p>
<p>平日も活動できるメンバーが増えると、出来ることも増えるかもしれないが、現状では会報誌の発行・バザー（休日）、月1回のミーティングでいっばいの状態に近い。（会員が20～40歳代で仕事をしている人が多いため、限られてくる。）</p>
<p>特にメンバーが仕事などで忙しく参加できないのが現状である。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動が育たない。</li> <li>・若い人達の地域外への就業が多く、足元を見つめる目が老化している。</li> <li>・ゴミ処理問題では、①内輪の問題 ②外人の問題 ③隣接市町住民の問題など対処が仕切れない。要望として広範囲面での外人対策を推し進めてもらいたい。</li> </ul> <p>行政ではない任意団体であり専従者は会長と女子専務職員のみであり、市役所をはじめ各所から割り振られる業務として煩瑣に過ぎる。</p>
<p>各組織（町内会、福祉委員会、防災委員会、公民館運営委員会、みどりの会）が当て職となっているため、やる気のある人の集まりではないのが欠点である。これらの各委員会を見直して、本当にやる気のある人を募集して実際に動ける人材を集めるべきだと思う。これからは、資金は充てにしない。小さなことからやれることからやっていく事が大切だと思う。</p>
<p>私のところは団地社会のような仕組みであるが、サラリーマン属と高齢者属と年齢差が大きく、完全に仕切られ、そういう中で参加しようとの意志が出てこない。従って携わる人はいつも同じメンバーになる。大きく輪を拓げる事は出来ない現状にある。誰もが真から参加しないのではなく、参加しづらいまわりの状況・環境があるような気がする。</p> <p>（例）人間同志の関係であるとか、又、排他的な見方・考え方が壁となって存在しているような気がする。町内会執行部メンバーは2～4年で交代していく。専門に携わってもらって複数メンバーが今後必要になると考える。行政側からの指導が重要かと、私達だけでは困難である＝抽象的な意見になった。</p>
<p>町内会との連携をさらに深め、町内広報を活用した活動のPRや会員募集を行う。合わせて手元情報を町内会と共有する。</p>
<p>本調査の対象となる施設ではないと思う。</p>

問 11 の選択肢 1 : 交流の場を多く設ける。問 11 の選択肢 7、13 : リーダーの育成と活動資金の確保。問 11 の選択肢 13、18 : ある程度の報酬を出して専従者を決める。
難しい。私には解決できない。
1. 活動内容に多様性を持たせ、興味・関心のある活動から入れるよう配慮する。 2. 実際の活動の場から比較的積極性のある人を見出し、リーダーを務めていただくよう説得する。
役員OBの行事への参画をすること。65歳未満が仕事についていて、町内役員となるので両立は無理である。町内会役員を育成すること。
各小学校区の情報を伝え合うブロック会を創設し、会合・Eメール・文書等で連絡をする必要がある。
活動を精選して行う。活動内容を工夫する。
信頼をいただいた団体の希望する人数が確保できないことがある。生徒一人ひとりのボランティア意識のさらなる向上を図るため、地域活動の意義を知らせるとともに、活動後の充実感を体感させていきたい。
リーダーの仕事を細分化する。現在もいくつかの分野では、それぞれ責任者に任せているが、それでも事務的処理や依頼者・外部との調整等をリーダーが担っているので、更に細分化して分担することで、リーダーの仕事が少なくなれば、やってくれる人も出てくる可能性がある。
問 11 の選択肢 7 : 会員を増やす。1人で90回活動するよりも、30人が3回ずつ活動する方が福祉の底辺を広げることになる。問 11 の選択肢 8 : 人材の発掘。自分から名乗り出る人がいない地域性なので、こちらからの声かけを心がける。
問 11 の選択肢 16 : 送迎ボランティアの確保が必要。現在は送迎なしで、自分で歩いてこられる人か、家族等が送迎してくれる人を条件で受け入れているが、利用者の中には雨天や暑さ寒さのために欠席する人もいる(徒歩の人)ので送迎があれば利用しやすくなる。
補助金や委託料を出すから「活動しなさい」となると負担が多くなってしまふ。「今、行っている活動で〇〇円の資金が必要になった」という時に補助金を出していただけると構えずに思ったことが出来る。
関係の方々と十分話し合っていくことが必要だと思う。
町内事業、公民館行事に積極的に参加出来る環境づくり。

<p>地域のつながりを広めるため、特に公民館活動を通じ、住民同志の顔を合わせる機会を多くするように、各種事業を行っている。又、現在は箕輪町ではなく、三河安城駅周辺区画整理地内で新町内会名が発足したが、独立した町内会組織を発足もまだできない中、従前町内会（箕輪町）で組織立ち上げの協力をするべく、三河安城南町・三河安城東町のマンションの住民に町内会の加入のお願いをしているが、難しい状態である。そこでマンションを主体とした、防災訓練を計画している。地域のつながりを深くするには、まず、そのようなことから行っていく予定である。</p>
<p>母子家庭では仕事が大切である。故に活動になかなか参加する事が出来ないでいる。会の活動内容などはチラシを一件一件配布してもらっているが、日曜日の仕事の方もおられる。親と同居している人は進んで活動に参加して頂ければ、内容もわかり、リーダーも育てゆくように思う。自発的に参加を期待する。</p>
<p>3期以上の職務経験者及び2期以上の経験者が少なく推薦母体の配慮で一斉改選時の選任に一考をお願いしたい。（リーダーを育てるため）又、リーダー育成の研修等、市行政がリードして欲しい。</p>
<p>地域の付き合いが薄くなっているので、もっと多くの人に行事に参加してもらうため、若い人の意見を取り入れて魅力ある行事を計画実行していきたい。</p>
<p>わかりません。</p>
<p>法人主催のバザー（第1回）に地域からの出店者を募る。（現在は福祉関係者のみに限定している。）</p>
<p>市主催の行事等に、要約筆記を付けるように提案する。要約筆記の存在を知らない聴覚障害の方々にPRする。技術向上に努力する。</p>
<p>当地域は保守的でボランティア活動が育ちにくい。町内会運営が精一杯である。特に最近、町内会業務が多くなっている傾向である。住民は経済的豊かさはあるが、ゆとり（暇）がないので役員も任期が終れば後は非協力的となる。役員OBの活用強化が必要である。自己主義の排除（むずかしい）が必要である。</p>
<p>必要な取り組み①若い人達がボランティア活動に参加してもらうような呼び掛け。②職場の中で興味のある若い人を誘う。</p>
<p>専任の福祉委員会委員長を選任する事が必要であると考えているが適任者の選出がむずかしい。</p>
<p>次年度役員の早期選出をする。そして次年度役員が次年度の事業計画を作成するようにする。</p>
<p>各グループ、団体のリーダーと定期的情報交換のために会合を持って話し合う場が必要である。</p>
<p>リーダーが限定されても会員の協力が得られない。高齢者が多く、若者、外人等の増加により活動できない。</p>

<p>市内で最高の高齢化（48％）が進んでいる地域である。ボランティア活動（町内福祉委員会）が盛んな地域でもある。ただ、ボランティア活動を進める上で、指導的立場の人々が高齢になり、若い人への取組が大切になって来ている。これがなかなか困難な状況である。</p>
<p>活動資金に余裕があり、リーダーを有償で育てなければ続かない。そのためにはNPOも事業型にしなければ成り立たない。</p>
<p>中学・高校・会社・若い時からボランティアとはごく普通のこと、特別なことではない“ほんの少しお手伝いを”と言う特別では無い教えをして頂きたい。</p>
<p>町内会の福祉委員会などと会合を出来るだけ多く持ち、町内の情報を得たいと思っている。</p>
<p>女性の参加が少ないので女性を取り込む工夫が必要である。少子高齢化が進み若年層の活動が活発化する必要がある。</p>
<p>1. リーダーの育成 2. 活動の補助はあるがもう少し多額にすべきである。</p>
<p>町内活動は、企業退職者の役割が大きい。この人々を、いかに地域、町内活動に参加させるかがポイントである。毎月1回等、軽い会食、懇談から、町内の種々の情報をPR、理解することが必要である。</p>
<p>私ども企業においては、地域貢献が昨今重要な課題の1つとなっているが、未だに取り組み方が不足している。町内会が市役所担当の皆さんにはもっと遠慮せず且つ具体的に、企業に対して要望・希望を出しても良いと思う。いわゆる大手企業以外はなかなか活動が出来ておらず、関係各所から働きかける事が必要だと思う。</p>
<p>夏季休業中（夏休み）を利用してのボランティア活動への参加者は、今年度は2名だけであった。補習や部活動などで日程の都合がつかないのが少ない原因である。（実際、説明会には10数名の参加者はいた。）来年度の課題としてはもう少し早めにボランティア募集の案内を出して計画を立てる時間的な余裕を持たせる。それから、部活動に福祉部があるが（現在部員はゼロである）福祉部への入部を積極的に行い、部の活動として参加できるようにしたい。</p>
<p>問11の選択肢4：町内発足から歳月が経過したことにより高齢者が多い反面若年者が独立し家庭を離れてしまう。問11の選択肢5：若年者が少なく、しかも年齢差が大きく現役サラリーマンのため、町内行事に参加できにくい。</p>
<p>必要としている時間に確実に活動していただける人材はボランティアでは難しい。市で予算を考えて頂きたい。</p>
<p>中学校なので時間的余裕が無く地域の福祉に関しての取組が多くできない。現在、何とか時期を考えて取り組んでいて、これが精一杯であろう。学校生活の中でリーダー等の育成に努めている。</p>

地域との連携を深めるために地域に頼られる中学生をめざしてボランティア活動を展開している。

中学生は年間通して学習や部活動等で多忙なため、余裕をもって活動に参加することが難しい現状にある。それでも日曜日に開催される地域行事にはできるだけ参加するよう啓発を進めているところである。少しでも中学生が地域の役に立ち、認められる存在となることが望まれる。

ハード面においては予算が伴うのでむずかしいが、市の総合計画の中に最重点問題として取り上げてもらうこと。1. 安心・安全なまちづくり、幼・小・中・福祉関係諸施設が、身近・近い距離に存在し、徒歩で自由に行き来出来ること。歩道・自転車道・公園の充実・小学校・老人ホームなど公共施設の充実。2. ソフト面においては、学校をはじめ団体が草の根活動的に地道に啓発していく。・ボランティア団体への支援・リーダーの育成。・こどもと老人が共に過ごせるような場の設置。

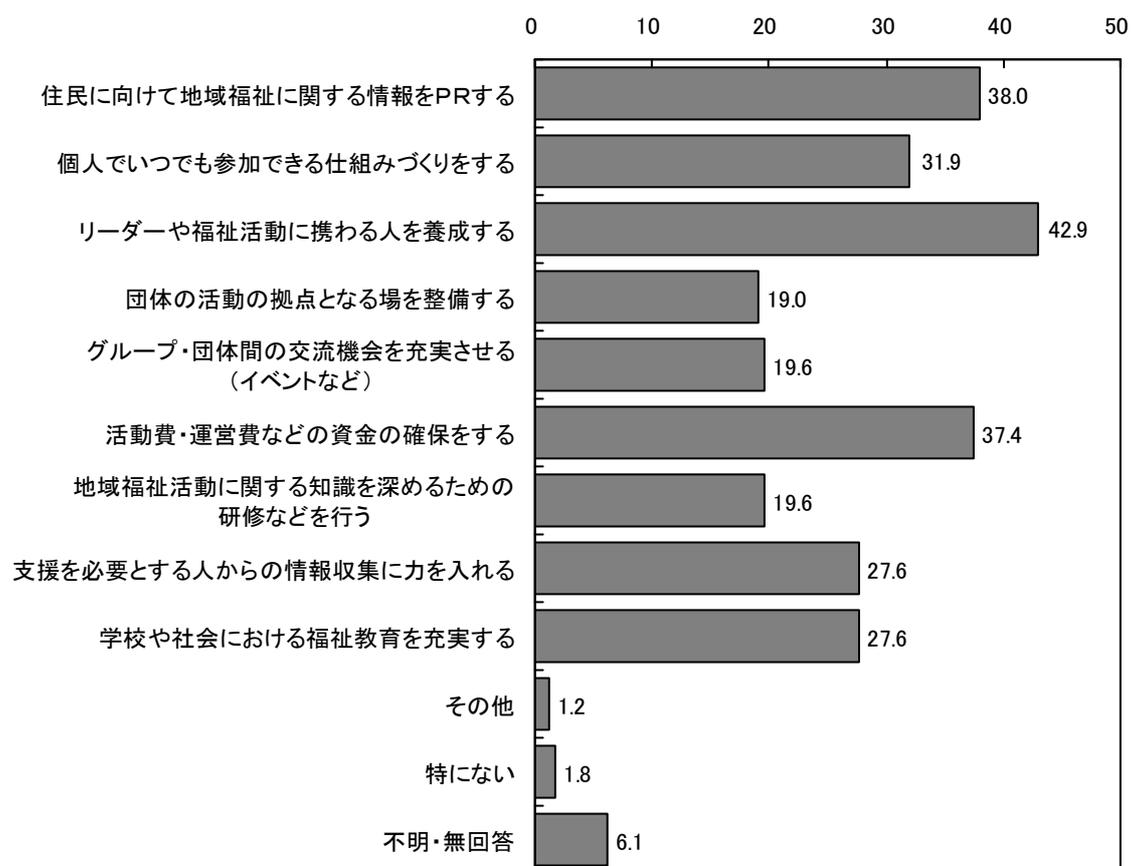
学校行事と地域の行事が重ならないようにする。

問 13 今後、安城市において、地域でのボランティアや助け合いなど、地域活動をさらに活性化させるために必要だと思うことをお答えください。（3つに○）

「リーダーや福祉活動に携わる人を養成する」が 42.9%で最も高く、次いで「住民に向けて地域福祉に関する情報をPRする」が 38.0%、「活動費・運営費などの資金の確保をする」が 37.4%となっています。

(MA)N=163

単位：%



## アイデアをおきかせください

問 14 地域福祉の推進に貢献した事例や、地域福祉を推進するためのアイデアをご記入ください。

脳こうそくの後遺症で言語不明瞭の 60 歳代女性と、同じく歩行困難の 70 歳代女性が週に 1 回だけだが、参加することによって、おしゃべりしたり、リハビリ体操をしたりして少しずつよくなっておられる。殆んど 1 日中テレビのお守りで自分から話すことのないひとり暮らしの 70 歳代女性が参加することによって新しい刺激を得て元気になられた、等たくさんある。
私達は、積極的に社会に向けて動きをみせていく事で何かを感じて頂き、それと共に自分達の知識として行き、その後の活動に役立てている。又、地域、自治体、町内と関わっていく事で自分達の実体験をアイデアとして生かし、協力してきた。
東海豪雨の時、大府市のボランティアセンターで活動でき、終わってからの防災ボランティア講習で、大府市の方を講師に安城市の方々と交流できた。又、安城市で行われた県の防災訓練で聴覚障害者と事前準備などの話し合いを行い、一緒に訓練できた事。
3ヶ月毎に見守り（70 歳以上）活動をしているが委員と高齢者と顔なじみになって話し易くなり情報もわかるようになりとても良い事であると思う。
人がすべて…現在活躍している人を発掘してリーダーとして活動していただく事が肝要。
団体の活動資金をつくるための作品制作やバザーの販売に多くのボランティア（高齢者～小・中学生・市内全域のみならず、市外・県外からの参加も有り）に協力いただいた。皆が楽しく参加できたことが長く続いている理由である。
地域の高齢者を集めて簡単に出来る防災ずきん作りを実施したところ、意外と喜んで頂いて、10 人も集まればと思っていたら 30 人も集まった。“時代が災害のニュースが多いので”と言って来てくれた人もいた。久しぶりに針をもったと言う人もあって何でも金で手に入る時代でも高齢者の方はたまには自分で作りたいのかなと感じた。
障害者自立支援法のもとの事業については、ボランティアと言いが難いが、社会福祉協議会と地区社協の連携を密にして、地域社会福祉協議会が「自立支援」が出来る社会の構築が必要であると思う。送迎ボランティア活動も全く上と同じである。
一般市民の方々から意見を頂戴出来るようなポストの設置。モデル地域を設定。（町内会・住民をまきこんで、具体的な取り組みを設定し、取り組んでみる）

<p>地域にどんな団体が存在しているかを知らない人が多いと思うので、そこにアピール出来れば福祉に関わる絶対総数が増えると思う。七夕まつりや地区の公民館まつりなど一般市民が多く参加するような場でボランティアを紹介するようなコーナーを大きく設けたり、目に付く場所（駅・スーパー）などに掲示板を設置する等地道なアピールが必要だと思う。</p>
<p>ふれあいグループ・支え合いグループ又、目的が共通するグループ等を自発的に立ち上げ、町内会（身近な場所）で、仲間づくりのための場所を提供していく事が、長い目でみるとお互いの支えある機運を盛り上げるものと感じている。まず地道な所の活動が第1だと考えている。</p>
<p>公民館・町内会では昼食会とか「つどい」などがあると思う。個人の家で2～3人で絵手紙や手芸など小グループでの活動から始まり、書いたもの・作ったものをホームの人や自宅への訪問などあれば持参して話し相手になるなどそこからいろんな事がイメージされるかもしれない。</p>
<p>私達はボランティアを始めて38年になるが、市としてはあまり目を向けていないので残念に思う。せまい安城であるので、もう少し一生懸命やっているボランティアには目を向けて欲しい。</p>
<p>①各種行事への参加。応援。 ・福祉まつり（第13回から毎年、マジックプレートづくり実施） ・安城七夕まつり（平成14年から、車いすの貸出）、サンクス、フェスタ他 ・安城子どもまつり（10/29 中部公民館～マジックプレート実施） ②他グループとの交流・連携（オカリナ慰問演奏など…）・一芸ボラ登録＜福祉施設、病院、幼稚園など＞</p>
<p>地域福祉委員会はほとんどの町内会で活動されていると思う。メンバーとしてはそれぞれ異なるかと思うが、町内会役員、民生委員、子ども会及び老人クラブ役員等ではないか。提案であるが障害者も委員会の一員に参加をさせてもらい災害発生時の防災に関する車など、その他福祉活動が向上すると思う。</p>
<p>無知や無関心から差別が生れていくと思う。障害者に対し感心を持つ『キッカケ』を作って頂きたい。例として、小学生に対する障害教育の交流などを通じて色々な人が居る事を知ってもらい機会を作りたい。最終的には親も巻き込んでのイベントを開きたい。市としてはその取りまとめをしてもらいたい。</p>
<p>地域福祉は町内会福祉委員会が主体となって取り組んでいるが、町内会の組織では広すぎて細部に亙り問題点を把握しにくい。従って、町内をいくつかのブロックに分けて、世話焼きさん（女性が望ましい）を中心とした地域で支え合う体制づくりが必要と考える。</p>
<p>障害者の生活向上のため、点訳情報を提供していますが、その中の生活情報誌では、あんくるバス停留所を中心にした、お店紹介を始めた。これにより、町の概要が良くわかり、生活の場が拡大し、便利になったと喜ばれている。学校の点字体験学習に於いては、点字に対する理解活動と共に、子ども達が障害者に出来る事は何かを考える時間を設けており、その感想から、障害者への思いやりが芽生えている様に思う。</p>

<p>超高齢化社会のこれからは、高齢者同士の自助・互助が問題解決の大きな要素となると考える。又、活動可能な高齢者が地域福祉の推進力となるような流れを作り出すことが必要であると思う。行動する高齢者が育つ事を目指した活動をしたい。</p>
<p>十分に活動が出来、時間に余裕のある（あてに出来る）ボランティアの方にお手伝いをしてもらおう。（夏休みの体験ボランティアの様な方では困る。）定年過ぎた方で健康な方等</p>
<p>防犯パトロールに町内の方々と参加するが、皆さんの志の高さと無理をしないオープンな活動方針に共感を抱いている。</p>
<p>自治会主催のイベントを行なう時、福祉委員会の方が中心となり、1人では外出出来ない方を自宅まで迎えに行き参加出来る様な機会を作っている。</p>
<p>百人一首を書く会の会費で街の商店や七夕祭を盛り上げた。「わくわくセンター」を仲立ちにして今は活動をさせてもらっている。</p>
<p>長期に亘ってボランティア活動する事も大切だが、その集団の中（例えば民生委員児童委員）で事業に貢献した場合の表彰作りの設置。リーダーに対する特別手当等、物心両面への行政の支援が必要と考える。ボランティアに携わった初期段階での「福祉」への感心を持たせるべき教育研修の充実をはかって欲しい。</p>
<p>高齢者・ひとり暮らし高齢者等、社会的弱者からの情報をもっと聞き取り、積極的な対応が必要である。事例や規定にある活動ではなく、もっと実際必要な福祉活動（求めている活動）が必要。</p>
<p>高齢者福祉の推進に、高齢者世帯のマップと世帯票を作成して担当地域の活動に役立てている。</p>
<p>子どもから高齢者までが一同に集える機会をつくる。防犯にもつながり、地域の交流に貢献出来るのでは。</p>
<p>町内枠を越えた中学校区単位の活動なので、最近、他県等から引っ越して来た高齢者の人達も参加するようになった。会で長年行っていた見守り活動が民生委員さんに（一部だが）引き継がれた。</p>
<p>総合学習で福祉を取り扱い、老人福祉施設と交流をもっている。</p>
<p>町内会と提携して、学区連合運動会を開催し、保護者だけでなく多くの町民が参加し、楽しむ運動会を開催している。志貴学区連合町内会主催の敬老会に毎年児童の音楽クラブが参加し、高齢者との交流を深めている。</p>
<p>小学校の通学時の見守り隊は地域で定着しつつあると思う。60歳以上の元気な人材を活用する分野を層別して募集するのも一案と思う。</p>
<p>班別福祉マップ防災マップの作成と情報交換の場作りが必要であると思う。</p>

<p>本校には和太鼓「凜鳴」がありますが、太鼓の運搬等に若干苦慮している点もある。また、実施等の連絡が時々遅い場合もあり、生徒の計画との関係で十分参加者を募ることができないこともある。アウトラインだけでも（日程）早めに連絡していただくと計画が立てやすいと思う。</p>
<p>窓口をオープンにして誰でもいつでも行ける様に全員みんなが知っている様にする。窓口をアピールする、回覧板・新聞・ラジオ・テレビ・メール・インターネットなどで情報を流す。企業では従業員に情報展開する。</p>
<p>毎日の窓口業務が町民に対する福祉に繋がると思っている。</p>
<p>誰でも、1人でも、気軽に参加できるようなことを考えては如何か。交流の輪が広がらないか。</p>
<p>中学生のボランティアの参加。</p>
<p>地域生活体験事業の推進 【ねらい】：障害者の自立的な生活が体験できるよう住宅を提供して自活能力と意欲を高める支援。 【対象】：高等部卒業 18歳～20歳まで（試行）。早ければ早いほどよいが、試行として実践。</p>
<p>日頃は老人クラブに対して大変お世話になっており、ありがとうございます。校区ごとに民生委員さんと単位クラブの会長と年に2、3回情報交換、地元の高齢者福祉のための会合が出来たらいいと思う。</p>
<p>現在、まだ地域福祉に関心のない世代は時代の流れともあいまって益々、個々人の生活や幸福の追求に片向いていく。地域福祉のカギを握る町内会のあり方や、事業・組織・構成員等の見直しをし、若い世代が若いうちから関わりたくなる、あるいは関わらざるを得なくなるような魅力ある町内会を模索する必要がある。</p>
<p>国際協力、理解、フェアトレードといったテーマのため、なかなか他の福祉団体との接点も見つけにくい、福祉まつりへの参加などを通して、これから一緒に活動できたり交流ができれば…と考えている。まだまだこれからという状況。</p>
<p>今回アイデア考案中のため、ご回答できず申し訳ありません。</p>
<p>不法投棄をする人の対局に懸命にゴミステーションの分別のし直しや清掃美化に励んで下さる人も居る。</p>
<p>年に数回地域の小学校児童との交流会で施設の見学やご利用者とのふれあいを行っている。</p>
<p>①H16年度ボランティア連絡協議会・H19・10・15サークル活動支援集・第37頁を参照して。②H17年度ボランティア連絡協議会・H19・10・15サークル活動支援集・第35頁を参照して。③H18年度ボランティア連絡協議会・H19・10・15サークル活動支援集・第42頁を参照して。H12年4月13日付、車いす、転落未然防止報をみて下さい。</p>
<p>地域での交流の機会を多くするため、拠点となる場を整備する（運動場（スポーツ）公民館（趣味））</p>
<p>先進地（高棚・榎木前地区）の発表事例紹介。</p>

施設内の掲示板に地域福祉に関するボランティアの情報を配信し、入居者が少しでも地域活動に関心を持てるようにする。
社会福祉協議会からの助成金や市からのふれあいネット事業・社会人活用の予算で、車イスバスケットの洞田博氏、トリノパラリンピック出場の三澤拓氏を講師として招くことができ、児童にとって充実した授業を展開できた。また、学校近くの老人福祉施設との交流を行い、その様子がNHKで放映され、保護者や地域の方の関心も高まった。
学校行事の中でできるだけ地域の方を招待したり、地域の人材を活用する。地域行事に児童生徒をできるだけ参加できるように進める。
本校では地域の信頼を受け、希望者による地域ボランティア活動を行っている。公民館や町内会からの依頼を全校生徒に伝え、自主的な参加希望者が地域への活動に参加することで、奉仕の心の高揚に努めている。
町内会役員（福祉委員）OBの組織化。2年で終了する町内会役員の組織化を図り、町内会（公民館）協力員として各種行事等に協力依頼する。
会の活動を通して、視覚障害者が積極的に地域に出て行くようになり、小中学校や地域の人が、障害者や福祉に関心をもち、手助けできるようになった。
グループ化した会があることにより、地域の人が活動に参加しやすくなった。
学区の小学生に口コミで広がり、学校の授業へと発展し、学校公認となった。
学校・町内会が連携した各種行事の推進。
福祉センター等での体験活動。
敬老会のフェスティバルへの地域の方々の参加。（東尾地区でのフェスティバル）

問 15 その他、地域福祉に関しての意見などを自由にご記入ください。

<p>◆地域（町内会）と連携した地域密着型のボランティアグループが必要。そのためには、町内会にボランティア活動を理解してもらう必要がある。ボランティアを受け入れてもらえない（理解してもらえない）町内会もあるときく。行政にお願いすることは積極的に地域のボランティアを活用し、連携して地域福祉・防災・環境の取り組みが出来るよう働きかけて頂きたい。言葉だけでなく、町内会の組織改革などしっかり指導して頂きたい。福祉も防災も環境もすべて町内会役員がやらなければならない。または役員でなければやれないという形が根強く残っている間は、実際に福祉・防災・環境力の向上は期待出来ないと思う。また役員の仕事が多すぎて、どこかに力を入れると、どこかにしわ寄せが起こる。現状として地域によっては、環境問題にウエートが偏り（予算がもらえる方に活動が偏りがちだから仕方ないかもしれないが）福祉・防災の部分で活動が停滞気味に感じる事もある。このような時、町内会の組織が、福祉分野・防災分野・環境分野に分かれていれば、偏ることなく進行できると思う。ぜひ早急な行政指導を望む。町内会は任意の団体だから、行政指導できないという話を聞いたが、行政だけでは市民</p>
---

の末端まできめ細やかな対応が出来ない部分を町内会が担っているのが現状なら、ぜひお願いしたいと思う。 ◆民生委員と地域福祉ボランティア。数少ない民生委員だけで抱え込まないで、ボランティアを巻き込んだほうがきめ細やかな見守りが出来ると感じている。民生委員より地域ボランティアの方が情報をつかんでいる事もある。相互協力しあって地域の福祉向上を目指したいと願っている。 ◆災害時要援護者対策について。災害時要援護者支援リストの提出があつて、初めて町内会が要援護者対策に目を向けたことは、素晴らしいと思うし、住民の関心も深まったと思う。そのことを始めた福祉担当課に感謝している。第2段階では、ぜひ、人の心のやさしさを信じて、現実的な対応が出来る形を考えて頂きたいと思う。地域で、日頃の要援護者対策ができていれば、災害時と特定しなくても、また支援者リストを作らなくても本当の支援体制が出来ると思っている。現実問題として、支援者リストなど頼りにならないと感じている。それなら現実に対応するリストを出して欲しいといわれるかもしれないが、役所に提出する書類に誰かの名前を記す事に抵抗を感じる年齢の方が多いので。町内会も書類上出さなければならぬから無理をして出している部分もあると感じている。支援者リストの提出がネックになっている事も現実としてある。例えば、隣の方は自分たちが何とかしなければ…と置いていたら、リストに載っていた人はかなり離れたところの人だった…ということは、私の家族は近隣で信頼されていないのでは、と戸惑いを感じた方がいる。要援護者本人にしてみれば近所の他人に書類に名前を書かせてもらう事を申し訳ないと感じて、離れたところの血縁関係者の名前を書いた。というのが本意であるなら書類は形式上だけのもので、実際に機能しないものだと感じている。人の心は純真で優しいものだと感じている。リストは要援護者対策をなんとか軌道に乗せるための第1段階だと思うので、第2段階のご指導に期待したいと思う。地域ボランティアの育成と活用が効果的と感じる。 ◆要援護者に対することで、福祉担当から・防災担当から・地区社協から・保健センターから…いくつかの窓口に対応する町内会長の超ご多忙な様子を拝見してお気の毒。何とかならないものか。

今池町の民生委員さんは積極的に私達のボランティア活動を応援してくれる。利用すると良いと思われる方を紹介してくれてそのうち何人かの人に利用してもらい喜んでもらっている。週に1回だけだが介護予防に貢献している私達にとって会場費(5000×48回=240,000)を個人の寄付に負っているのはとても辛い。去年は赤い羽根からもらった。毎年市から補助して欲しい。

正直、市の障害福祉関係者の障害への関わりが少なく、行政の勉強も大切だが、共に体験、経験する事を望み、『必要である関係者が語る意味』を感じ取り、吸い取ってもらいたい。(複写方式)

地域福祉の範囲は中学校区内のみと考えるのではなく、市内や近くの市のボランティアグループ、NPO法人等それぞれの行っていることの案内を行ったり、町内会の会合などへ必要なグループが参加していける様になったら良いと思う。

<p>老人会定例会等にすすんで出席できない人のために会食会等をやってみたいと思うが、町内の公民館がバリアフリー化されていないので無理である。</p>
<p>今後の重点指向が必要。リーダー層を育成することが大切。(成功の基ともいえる)</p>
<p>私達の団体には、最重度(医療行為を伴う)障害者が在籍している。いろいろなイベント・会議・研修等に安心して参加出来る様な環境が整えられると、参加者も増え、より多くの意見・アイデア等を得られると思う。</p>
<p>地域の中のコミュニケーションがなくて、昔のように隣に声かけて晩のおかずを分けたりというような事が無く、地域内で行事をしようとしてもなかなか人集めが大変だと思う。</p>
<p>地区社協・地区町内会・そして、その事業の専門NPOがリンクして地域高齢者福祉社会の構築に当センターも貢献出来たらと思う。</p>
<p>地域福祉を考える前に、そこに住む人達の交流する機会を増やす事が大切では。(現在、都市化が進み、お隣同士の付き合いで顔が見えない状態)そこには、行政というよりも、街(町内)としての役割(町内会)が果たされていない感じがする。</p>
<p>最近では定年後の活動としてボランティアが紹介されることもあるが、ボランティアの実情はメンバーの高齢化である。私は29歳であるが、同年代が非常に少なく、特に何も活動していない友人などに地域福祉を聞いてもほとんど無知である。高齢者の助け合いは充実していくと思うが、そこに若者がどう関わっていけるかを考える必要があるのではないかと思う。</p>
<p>最近、我が町内でも町内会より脱会する人が増えている。地域に暮らす者にとって住民組織が一番大切で身近な組織であり、ふれあい・支え合いの条件である。いかにして全加入を成し得ていくことに地域福祉の原点がある。行政に於いても、啓発と推進への助力をお願いしたい。</p>
<p>「テレカメ」は地域での福祉活動をしている人々の活動などの記録をさせて頂き、まとめて(編集など)いるグループである。特別に活動はしていません。お隣さんと仲良くなり話しが楽しく良い交流が出来るといいと思う。お互いに忙しいせい、あまり話し合いなどが無いと思うからである。昔の「井戸端会議」的な事はほとんどないのではないかと思う。</p>
<p>私達も月に7~8回大変であるが、後を継いでくれる若い方達がいないので心配である。</p>
<p>今後、益々高齢者のひとり暮らし、核家族化の地域の状況の中、地域に働きかける福祉(支え合い)、防犯、防災の取り組みが必要であるが、活動が進まない状況。行政、町内会の指導を要望したい。中高年男性の地域社会の活動の活性化と助成に力を入れ、合わせて健康増進のスポーツ大会等をする。こどもまつりの反対、中高年のつどいを計画する。</p>

<p>災害発生時、要援護者支援マニュアルがあり、登録者には隣接支援者・福祉委員・民生委員・町内会役員が支援するシステムがあり当協会として大変感謝している。</p>
<p>障害者自立支援法が施行され安城市の障害者福祉も大きく変わろうとしている。その変化が「障害のある人、ない人関係なく、安城市に住んで良かった」と思えるようなノーマライゼーションの実現にむかうよう、一緒に努力していきたいと考えている。よろしくをお願いします。</p>
<p>日常的に介護を必要とする人は万一の災害に際して、地域の人の手助けが必要だと考えるが、家族は介護の実態を地域の人に明らかにする事を拒んでいる人も多々おり、どうしたらよいか苦慮している。住民に向けて地域福祉とはなんぞやというよう基本的なことから、地域住民が支え合うことの必要性を広報紙などでPRする。</p>
<p>視覚障害の方から、市からのお知らせを点字で欲しいという話をよく聞く。(1) 各種手続き・調査など回答期限のあるもの。(2) ゴミの分別方法・時刻表など繰り返し読むものなど、点字の読める方には是非点字で送ってあげて欲しいと思う。</p> <p>特に(1)については、迅速な点訳のため、自動点訳(専用スキャナ、講習会などが必要)を採用することで、当会も協力できる体制を整えたいと思うので、是非ご一考下さい。</p>
<p>積極的に協力させて頂きたい活動であるので、「企業に求められている活動」をより具体的にご案内いただければ幸いです。</p>
<p>子ども達にとって指導員が安定していないとストレスの原因にもなるのでなるべく長期で働ける方を募集しているが、働く時間が短く収入として少ない事が原因で、やめられる方が多くなっている。そういう方にとって福祉に関する仕事に携わる事による優先的な何かがあれば続けてもらえる方いるのでは。</p>
<p>高齢化社会への対策としても地域福祉は極めて重要であると思う。</p>
<p>マンションという形態上、なかなか自治会活動、地域福祉に関心を持ってもらうことがむずかしい現状にあるが、少しずつ高齢化が進む中、やはり隣近所の助け合いが年々必要になってくると思う。少しずつでも皆さんの意識向上をめざし、活動を進めていきたいと思う。</p>
<p>組織にあまり煩わされずに気楽にボランティア活動が出来ればと思う。以前定期的に3人で施設でボランティア(書を教える)をしたが、心身ともにへとへとなった。</p>
<p>社会福祉協議会の活動、特に、地区社協の活動の見直しを「地域」とはレベルの高い町内会の活動紹介も良いが、今社協に期待されているのは、各町内会のレベルアップ→ボトムアップではないか。そういう所にこそ地区社協としての存在価値はあると思う。</p>
<p>地域福祉を町内会まかせにせず、市・団体・課、社協はもっと地域へ入り込む活動が必要である。市・課の規定にないから出来ない。休日だから行けない。ではなく、地域活動に合わせた市・関係機関の取り組みが必要である。</p>

<p>お年寄りを狙う悪質商法防止のことについての要望。町内会単位で、老人会・町内福祉委員会等でお年寄りを対象にビデオを見てもらい被害にあわない様に学習をしてもらってはと思う。</p>
<p>福祉予算枠がキツすぎて、町内会予算を圧迫する行事が多すぎるのでは。町内での回覧が多く、回覧を見ないでまわす家が増えている。(各方面からの要請が多く、回覧が重なるため)</p>
<p>各町内会に福祉委員会があり、それぞれに特色ある活動をしている当地にあって、各町内会単位で出来る事、或いは町内枠を越えて出来る事を、その時々ニーズに合わせた活動が必要になってくると思われる。</p>
<p>手助けを必要としている人がいることをアピールすることも大切だと思う。具体的に、いつ、どこで、どのような形で必要なのかも明記されればボランティアに興味を持っている人が、取り組みやすくなるのではないかと思う。</p>
<p>地域の協力体制が整っており、お互いに支え合う雰囲気強い。学校としては、こうした地域との結びつきを大事にし、地域との連携を深める取り組みを今後も継続して行っていきたい。</p>
<p>長年、消防の災害物資の賞味期限のせまった品物を頂いて、イベントの参加賞にしてきたが（7年間）、平成19年度より「個々のボランティア団体にはあげられない」と断られ困っている。碧南市は払い下げしているが、イベント開催が安城デンパーク、主たる参加者が安城住民なので断られた。安城市はどんどん枠がきつくなってきて活動しにくくなっている。</p>
<p>設問とは全く異なるが、平均年齢が87.2歳の高齢であり、尚且つ障害の身であり、戦前戦後の大きなハードルがあり現世代の波に乗る気力にも乏しく、静かに後世を送りたい。各地区町内会に立派な公民館があるのでそれをフルに活用することが望ましい。各々グループを作り好きな趣味に生きる事も大切なことであると思う。</p>
<p>①どんな活動が地域福祉活動として求められているのか、地域住民個々の気持ち・希望を把握（知る）する事が第一と考える。地域住民の気持ち・要望（何を求めているか）は、個人・地域・年代によっても異なると思う。地域住民の要望に対応した地域福祉活動でなければならない。②役割（機能）分担が必要。国・県・市町村の役割・地域（町内会）の役割・各種組織の役割等…</p>
<p>地域性があり難しい状況である。</p>
<p>互いに支え合う事は大切だが、自分から他人を支えることはせず、いつも他人からの支えを要求する人達が増えてきた。地域福祉をやればやるほど、他人まかせ、わがまま等が出てくるのが心配である。</p>
<p>身体障害・知的障害・精神障害者が気軽に集まれる場（フリースペース）が必要である。</p>

<p>福祉活動は考えさせられる問題と思われる。行事の企画実施をすることで団体に出席名簿の提出を求められることがあるが、平日が多く、難あり。チラシ、回覧で案内として、後は自分が進んで出席出来る様な集まりにしたいものである。</p>
<p>地域福祉に関係する各団体役員が厳しく推進する。これからの地域福祉は少子高齢化で1年1年と厳しくなる。福祉活動に携わる人を養成して欲しい。</p>
<p>学校で障害をもって通学する子どものサポート（親に代わって）をするボランティアグループのまとめ役のグループ代表をしている。それぞれのボランティアグループは長時間学校にいて、子どものサポートをして下さっているが、全くのボランティアで無償である。是非、義務教育の間は有償でボランティアができるようお願いしたい。</p>
<p>1. 地域公民館（町内公民館）を開放して、何時でも使用出来る様になると良い。 2. 町内公民館を住民が使いやすい間取りとすると良い。</p>
<p>民生児童委員を15年、特に役員をすると大変だと思う。将来はNPO法人で行わないと、やる方がなくなると思う。外国へ行き、聞いた折、生活費は出るとのこと。委員に聞いた意見では市議員を1/3にして、ボランティアの方へ配分してはどうか、現議員はサラリーマンの気持ちで行っているそうである。</p>
<p>地域へ住民全員といかに向き合ってその家庭・家族と率直に話し合えるかを研修したい。相互信頼が行動する上で重要テーマになると考えている。そのためには体裁や格好をとるのではなく足を運ぶ回数を多く、会話が大事である。</p>
<p>残念ながら町内会長が変われば地域福祉に対する考えや取り組みが違う。福祉に対する引継ぎがキッチリ出来る様な仕組みを作って欲しい。（福祉トラの巻…書面で）</p>
<p>別郷とか北明治の様にまずリーダーを選び町内会・民生委員・老人クラブ等の各リーダーが現状を把握、分析して地域福祉の必要性を話し合う。</p>
<p>地域活動については施設が主体となって活動の立案、計画をしてはいませんので今回のアンケートの主旨に回答が添わないと思う。どちらかと言えば各種団体の活動に参加をさせていただいているのが現状であるので…。</p>
<p>青少年非行防止活動として、人間形成で一番必要とされる幼児教育、その時期の家庭環境づくりを学んで頂くために“親子手作り教育”“子育て講座”等各地区公民館などに出向き活動している。</p>
<p>ひまわり会は障害児とその保護者の交流や共に活動をする会である。地域における活動は福祉まつりや体育祭しかない。このアンケートは別の団体の方が適性と思うが。「地域活動は」と質問されて困る。</p>
<p>町内の中でも地域毎の特性があり、小地域毎の課題を設定し取り組む必要性を感じている。その上に立って小地域毎の交流を図るよう努めて行こうと考えている。→町内でも一律には行かない。</p>

核家族化や少子高齢化が進む中、人々の意識が大きく変化し、「ふくし」「ふくし」と言われてなかった時代の方が制度はなくても温もりある地域であった様に思う。「福祉」のイメージがこれ以上悪くならぬ様期待する。

地域福祉の必要性に疑問を感じる。

私たちの会では会員一人一人が、「地元で！地道に！じっくりと！」を合言葉に、福祉に強いまちは、災害にも強いまちだとの思いから、活動に福祉・防災という線引きをせずに、取り組んでいる。高齢者だけでなく、障害者も乳幼児も地域で暮らしているので、災害が発生したら、専門のサポーターがすぐ関われない分、地域・特に近隣で手助けが必要。そのための支援者リストだと思うが、リストを提出していればそれで安心、と勘違いしている障害者も多いと聞く。災害時への備えの第一歩は、近隣とのよい関係である。本人からの積極的な働きかけが災害発生時にものをいうことを認識して欲しいし、地域の防災訓練を地域交流の場として、活用できないか。自主防災会と連携して考えていきたい。

環境都市安城は地域福祉の充実がなされることとベクトルが同じ方向に向いていると思う。市の予算をはじめ施策そのものにもそちらへ重点化するようシフトして欲しい。